月　日　名前　　／50点

【中3】国語 文章テスト　説明文 1/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

考えがまとまらないとき、とりあえず紙に書いてみると、頭の中が整理されることがある。書く前には分かっていると思っていたことが、書こうとしたとたんに、うまく言葉にならない。そんな経験をしたことはないだろうか。

頭の中の考えは、じつはかなりあいまいである。いくつもの思いが同時にうかび、順番もつながりもはっきりしないまま、なんとなく「分かった気」になっている。ところが、言葉は一度に一つずつしか並べられない。書くためには、どれを先に言い、何と何をつなぐのかを、一つ一つ決めなければならない。書くことがむずかしいのは、このとき、あいまいだった部分がはっきりと表に出てくるからである。

だから、うまく書けないときは、考えが足りない部分がどこにあるかを見つける好機でもある。「なぜなら」の後が続かなければ、理由がまだ考えられていない。「たとえば」の後が出てこなければ、具体的に分かっていない。言葉につまった場所が、そのまま考えるべき場所を教えてくれるのだ。

書いたものを、時間をおいて読み返すことにも意味がある。書いた直後は、頭の中の考えで言葉のすき間を補ってしまい、足りないところに気づきにくい。少し時間がたつと、自分の文章を、他人の文章のように読むことができる。そのときにはじめて、言葉が考えにきちんと追いついているかどうかが分かる。

私たちは、考えがまとまってから書くのだと思いがちである。しかし実際には、書くことによって考えはまとまっていく。言葉は、考えを運ぶ入れ物であるだけでなく、考えを形づくる道具でもあるのだ。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　筆者は、頭の中の考えはどのようなものだと述べていますか。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

問二（十点）　筆者は、書くことがむずかしいのはなぜだと述べていますか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　言葉は一度に一つずつしか並べられないので、あいまいだった部分がはっきり表に出てくるから。
イ　書くためには、たくさんの言葉を覚えておく必要があるから。
ウ　書いたものは、他人に読まれて評価されるから。
エ　頭の中の考えは、いつも正しいとはかぎらないから。

問三（十点）　「言葉につまった場所が、そのまま考えるべき場所を教えてくれる」とありますが、「たとえば」の後が出てこないとき、どういうことが分かると筆者は述べていますか。本文中から十五字以内で抜き出しなさい。

問四（十点）　筆者が、書いたものを時間をおいて読み返すとよいと考えるのはなぜですか。書いた直後との違いにふれて、六十字以内で説明しなさい。

問五（十点）　筆者の考えとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　考えがまとまってから書くべきで、まとまらないうちは書かないほうがよい。
イ　書くことによって考えはまとまっていき、言葉は考えを形づくる道具でもある。
ウ　言葉は考えを運ぶ入れ物にすぎないので、中身の考えのほうが大切だ。
エ　文章は、書いた直後にすぐ読み返すのがいちばんよい。

月　日　名前

／50点

合計　／100点

【中3】国語 文章テスト　物語文 2/2

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

受験勉強に行きづまった日曜日、私は祖母の畑について行った。机に向かっていても、同じページを何度も読み返すだけだったからだ。

祖母の畑は、家から歩いて十分ほどの坂の上にある。祖母は、私に軍手を渡すと、何も言わずに草取りを始めた。私も隣にしゃがんで、土から草を引き抜いた。根が深い草はなかなか抜けず、途中でちぎれてしまう。

「根っこを残すと、またすぐ生えてくるよ。」

祖母はそう言って、草の根もとの土を指でほぐし、ゆっくりと引き抜いた。白くて長い根が、切れずにするすると出てきた。

しばらく黙って作業を続けた。手を動かしていると、頭の中でぐるぐる回っていた数式や英単語が、少しずつ静かになっていった。

昼前になって、祖母は腰をのばし、畑のすみのきゅうりを一本もいで私に渡した。形がいびつで、店で売っているものの半分くらいの長さしかない。

「今年は雨が少なくてね。こんなのばっかりだよ。」

かじってみると、驚くほど味が濃かった。水が足りない中で、根を深くのばして育ったのだと祖母は言った。

帰り道、私は祖母の言葉を思い出していた。根っこを残すと、またすぐ生えてくる。雨が少ないと、根は深くなる。祖母は、ただ畑の話をしていただけだった。けれども、私には、今の自分に向けられた言葉のように聞こえた。

家に帰って、私は机に向かった。今度は、分からないところをあいまいにしたまま先に進むのをやめた。一つの問題の根もとを、指でほぐすように、ゆっくりと考え直した。

窓の外は、少し日が傾いていた。手には、まだ土のにおいが残っていた。

（この問題のための書き下ろし）

問一（十点）　私が祖母の畑について行ったのはなぜですか。「～から」につながるように、本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

問二（十点）　「頭の中でぐるぐる回っていた数式や英単語が、少しずつ静かになっていった」とありますが、この表現が表していることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　草取りに集中するうちに、受験勉強のあせりや混乱が落ち着いていったこと。
イ　勉強した内容を、すっかり忘れてしまったこと。
ウ　畑が静かな場所なので、何も聞こえなくなったこと。
エ　祖母と話すうちに、勉強のことを考えるのがいやになったこと。

問三（十点）　祖母によれば、形がいびつなきゅうりの味が濃かったのはなぜですか。本文中から二十字以内で抜き出しなさい。

問四（十点）　「今の自分に向けられた言葉のように聞こえた」とありますが、私は祖母のどの言葉を、どのように受け止めたと考えられますか。家に帰ってからの私の行動にふれて、六十字以内で説明しなさい。

問五（十点）　最後の一文「手には、まだ土のにおいが残っていた」の働きとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

ア　畑で過ごした時間と祖母の言葉が、今の私の中にまだ生きていることを感じさせる。
イ　私が手を洗うのを忘れるほど、だらしないことを表している。
ウ　畑仕事がきつく、もう行きたくないという気持ちを表している。
エ　祖母の畑が、家からとても遠いことを表している。